

児童の税に関する疑問を生かし、税の大切さについて考えることができる授業の工夫

石巻市立飯野川第二小学校

教諭 佐藤 孝敏

1 はじめに

私たちが豊かで安全な生活を営むために納税は欠かすことができない国民の義務である。しかし、生活が様々な面で税金に支えられていることに気付かないまま成人になり、納税の義務を果たさない人もいるのではないかと思われる。それゆえに、小学生の時期に身近な生活と税の関係について正しい知識を身に付けることは、日本の将来を支える人材を育てる上においても非常に意義のあることであると考えられる。

本単元「私たちの生活を支える税」は第6学年社会科の学習指導要領の目標(2)イ「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民の権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」を受けて設定したものである。租税の役割について、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割をしていることを考えることができるようにすることが重要である。

児童の税に関する素朴な疑問を生かし、家庭から納められている税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにしていきたい。

2 児童の実態について

第6学年には14名の児童が在籍している。買い物で児童自らが直接支払ったことがある税は消費税であり、事前アンケートの結果からも児童にとって一番身近な税だと言える。所得税や自動車税等も知っている児童がいたが、どのような税なのか説明するところまでは理解していない。

税金の使い道については、教師が折に触れて学校の備品や教科書、教師の給料等について話していることもあり、学校教育の様々なところに税金が使われていることを知っている児童が多かった。

どのように税金の使い道が決められているかという点については、総理大臣や国会といった回答が多い反面、分からないという児童も多かった。

税に関する事前アンケートの結果は次の通りである。

○ 対象児童 6学年1組 男子10名 女子4名 計14名
1 税金の種類で知っているものを書きましょう。(複数回答)
①消費税(14名) ②所得税(9名) ③自動車税(6名) ④印税(3名)
⑤たばこ税(2名) ⑥固定資産税(1名) ⑦住民税(1名) ⑧法人税(1名)
⑨重量税(1名) ⑩ローン税(1名) ⑪ユーロ税(1名)
2 税金はどこに納められていると思いますか。(複数回答)
①国(政府)(7名) ②税務署(6名) ③天皇陛下(2名) ④公務員の通帳(2名)
⑤銀行(1名) ⑥外国(1名)
3 税金の使い道はどこで決めていると思いますか。
①総理大臣が決める。(3名)
②国(政府)が国会で決める。(2名)
③税務署の人が決める。(1名)
④天皇陛下・皇后陛下が決める。(1名)
⑤財務省の大臣が国会で決める。(1名)
⑥分からない。(6名)

- 4 税金は何に使われていると思いますか。
 ①学校(校舎,机,椅子,ピアノ等)(8名) ②道路(4名) ③公務員の給料(4名)
 ④教科書(4名) ⑤災害支援(2名) ⑥橋(1名) ⑦公園(1名) ⑧建設(1名)
 ⑨募金(1名) ⑩市立病院(1名) ⑪刑務所に入っている人の食事(1名)
 ⑫子ども手当(1名) ⑬えんぴつ・消しゴム(1名) ⑭日本の借金(1名)
- 5 税金について詳しく知りたいことは何ですか。
 ①税金はどうして払わなければいけないのか。(4名) ②税金とは何か。(3名)
 ③税金の種類(3名) ④税金の歴史(3名) ⑤1年間に納める税金の額(2名)
 ⑥税金はどうして高くなるのか。(2名) ⑦税金は必要なのか。(2名)
 ⑧所得税とは何か。(2名) ⑨一億円の重さ(2名) ⑩家庭で支払う税金の種類(1名)
 ⑪税金はどこにしまっているのか。(1名) ⑫日本の税金と外国の税金の違い(1名)
 ⑬税金がなくなるとどうなるか。(1名) ⑭住民税はどのように支払うのか。(1名)

3 指導にあたって

指導にあたっては下記の3点に留意していく。

- ・ 税について詳しく知りたいという児童の探究心を生かすため、事前アンケートの結果をもとに税務署担当者と共に授業を構成していく。
- ・ 平均的な年収の人物モデルを設定し、生活するために必要な税をより具体的に理解できるようにする。
- ・ 学習のまとめとして、仙台国税局が制作した資料「くらしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。

4 指導計画(2時間扱い)

時間	小単元名	主な学習内容
時間外	税に関するアンケート	・アンケートの内容を説明し、記述する。(記述については家庭学習とする。)
1	税とは何だろう?	・税金の種類を知る。 ・税金の納付額を知る。 ・税金の必要性を知る。 ・税金の使い道を知る。
2	税と日本の課題	・税金の使い道についてまとめる。 ・日本の課題について知る。 ・学習を振り返り、分かったことや感想を書く。

5 実践内容 特設単元「私たちの生活を支える税」
【第1次 税とは何だろう？】

<p>主な学習活動 ○：主な発問（児童のアンケートを活用する。） 児：児童の反応</p>	<p>主な支援・説明内容 税：税務署職員の方の説明等 教：教師の説明</p>
<p>1 税金の種類について知る。 ○「自分の知っている（聞いたことがある）税の種類を発表しよう。」 児：「消費税」「所得税」「印税」「車の税」等</p> <p>○「その他の税の種類について聞いてみよう。」 児：「すごくたくさんある。」</p> <p>2 私たちが支払っている納税額について知る。○ 「わたしたちは、1年間に、どのくらいの税金を支払っているのでしょうか。」 児：「10万」「20万」「分かりません。」等 児：「そんなにたくさん支払っているんだ。」 児：「払いたくないなあ。」</p> <p>3 納税の義務と税金の使い道 ○「どうして税金を支払わなくてはいけないのでしょうか。」</p> <p>○「税金を日本中のみんなが納めなかったらどういうことになってしまうのでしょうか。」 （DVD）を見て考えてみましょう。 児：「税金がないと道路がこわれてもそのまま」 児：「交番では、道案内をするだけでお金を取られる。」</p> <p>○ 税金が私たちの様々な部分で生活を支えていることを知る。</p> <p>* 1億円ってどれくらいの重さ？</p>	<p>税：税についての簡単な説明を付け加える。 児童から出なかった税「法人税」「ガソリン税」等を知らせる。</p> <p>税：各税金がどこに納められるか、国税、地方税に分けて掲示する。</p> <p>税：国民の平均年収のモデルを示す。 「例えば、日本国民の平均年収と同じくらいの年収370万のAさんの場合、所得税が8万、市町村税が10万・・合計46万ぐらいです。」</p> <p>教：納税（税金を支払うこと）は国民の義務として憲法に定められていることを確認する。</p> <p>教：DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を再生する。 * 税金がある生活と税金がなくなった生活を比較し、税金によってわたしたちの生活が支えられていることを知ることができる内容</p> <p>税：レプリカの1億円を児童に持たせる。</p>

【第2次 税と日本の課題】

主な学習活動 ○：主な発問 児：児童の反応	*教師の支援
<p>1 税金の使われ方について振り返る。 ○「税金はどのように使われているのか思い出そう。」</p> <p>2 税金の使い道を決めるのは、どこだろう。 ○「わたしたちが納めた税金の使い道はだれが、どのように決めているのでしょうか。」 児：「総理大臣」「天皇陛下」「税務署の人」</p> <p>3 日本の課題を考えよう。 ○「国の予算のグラフを見て気が付いたことを話そう。」 児：「国の収入は税金だけでなく、国の借金が半分くらいある。」</p> <p>○「国の借金が今どのくらいあるか見てみましょう。」 児：「借金が多い。」「どんどん増えている。」 児：「無駄遣いをしないようにすればいい。」 児：「消費税を上げるしかないかな。」 児：「8%では足りないよ。」</p> <p>4 税についての学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>*仙台国税局制作資料「くらしと税金」(表紙、1ページ、3、4ページ)に記入しながら、前時の学習を想起させる。</p> <p>*資料6ページの図を使い、国民が選挙で選んだ議員が国会で話し合って決めていることを確認する。(県税、市税についても同様に決められていることを補足説明する。)</p> <p>*アンケートの児童質問「どうして税金は高くなるのか」を取り上げる。 *資料のグラフを示し、国債の項目に着目し、国の歳入の約半分が国債(国の借金)で賄われていることを知らせる。</p> <p>*ホームページ「国の借金時計 財部誠一氏」(http://www.takarabe-hrj.co.jp/)を提示する。</p> <p>*税金の収入以上の支出があるという課題があることや、だからといって、急に支出を減らしたり、増税したりすることは私たちの生活を苦しくする可能性があることを説明する。</p>

6 成果と課題 (○は成果 ●は今後の課題)

- 児童が書いたアンケートをもとに学習内容を構成したことで、教師や税務署職員の話を用意的に聞くことができた。
- 納税者の具体的なモデルを設定することにより、生活していくために必要な税金について具体的にとらえることができたと思われる。
- 資料「くらしと税金」を活用したことにより、重要な学習事項を網羅することができた。
- ホームページ「借金時計」を提示したことにより収支の問題に気付くことができたが、借金の印象が強くなり、税によって様々な社会保障、災害復旧の取組、地域の開発が行われていることの学習が希薄になってしまった。
- 税金がどのように私たちの生活を支えているのか、ビデオ教材以外にも調べ学習を行うなど、実感をもたせるための工夫が必要だった。

〔児童の感想〕

- O. T: 石巻税務所の武田さんが教えてくれた税の種類が多さに驚きました。たくさん取られるけど、その分、私たちの生活に役立っていることが分かりました。借金時計を見て、なぜこんな少しの時間に借金が増えていくのか驚きました。
- T. M: 学校の建物や机、道路をつくったり、直したりすることに使われていることが分かりました。ゴミ処理にも使われているので、とてもいいと思います。1年間に納められる税は約42兆円で、使われるのは約92兆円なので大変だと思います。
- O. S: 消費税は3%に下げて、給料をアップして物をいっぱい買ってもらって、その分税金をはらってもらおうといい。
- T. S: 私達の教科書だって、机だって机だって、全て税金です。だから、税金はなくてはいけないものなのです。だけど国の借金はなくしたいです。そのために消費税を15%に上げましょう。日本がなくならないために。
- K. S: 税金があるから生活が豊かになっていることが分かりました。(例えばごみの収集、道路整備等)でも、国の借金が多いので、使い道(支出)を減らしたほうがよいと思います。
- T. M: 税金は国民のために道路、病院、警察署、消防署などに使われ、安心して便利な生活ができることが分かりました。消費税が5%から8%に引き上げられても借金は増え続ける気がするので、どうにかしなきゃいけないと思います。
- T. S: 日本は借金が多いので、ぼくだったらゲーム税を作りたいです。ゲーム1個買うと1000円支払うという税をつくりたい。
- S. R: もし、信号機をつくってもらえなくなったり、こわれた道路をなおしてもらえなくなったりすると、事故が起きて大変だと思います。問題点は日本に借金がありすぎることです。借金を減らすには消費税を増やすことなどがが必要です。でも、お金のない人は大変だと思います。
- W. H: 税金はいっぱい種類がありすぎて覚えられないです。でも、そのお金が信号機や橋につかわれていることが分かりました。
- S. K: 東日本大震災後に税金が使われなかったら、がれきや壊れた橋などがそのままになってしまったと思うので、税金があるから生活がよくなっていると思います。日本の借金は税金を無駄遣いしないで、公務員の給料を下げればよいと思います。